

ごあいさつ

聖路加看護学園理事長 **日野原 重明**

2011年度の聖路加看護大学の教育研究活動について、当年報に各担当者からの報告を収録した。関係各位のご高覧をお願いしたい。

私が学校法人聖路加看護学園の理事長として、2011年度の活動で重視したのは、東日本大震災を踏まえた学生・教職員の安全強化で、安否確認システムの導入や備蓄品の拡充を行った。

学校法人聖路加看護学園組織に関しては、改変した機構ならびにその運営について、以下に総括的な報告をしたいと思う。

- 1 「大学マネジメント検討会」を廃止し、「将来構想委員会」を設けて、広く将来構想についての意見を出してもらうことにした。
- 2 建学の精神におけるキリスト教の定着拡充のために「チャペルアワー委員会」および「ウィリアムズ主教記念基金委員会」を明記し、活動の強化を図った。
- 3 国際的な活動を強化するために、アジア・アフリカ学術基盤形成事業のプロジェクトチームを編成、応募し採択された。
- 4 実践研究活動を国際的にも広く発信するために、看護実践開発研究センター長の所属下に、情報集約発信担当を位置づけた。

次に大切なことは、学長の選任であった。2008年に再任された井部俊子現学長の任期は2011年度末で終了することになっていた。理事会において学長推薦委員会を設け常任理事会でも討議し、2012年2月の理事会において、井部学長の2012年からの1期4年の再任が議決され、2012年4月2日に就任式が行われることとなった。

なお、私個人に関しては、1984(昭和59)年2月に聖路加看護学園の理事長として着任したが、満100歳を迎えたのを機に2012年3月末をもって理事長を退任し、名誉理事長となることが2011年12月14日の臨時理事会で承認されたことを報告する。

今日に至るまで28年にわたる理事長業務を支援していただいた関係者の方々に感謝の意を表したい。